

# JB News Letter

No. 26  
2025.07

JB Print Techno

株式会社  
ジムブレーション

ジムブレーション編集・発行の情報誌。今ホットな話題やお得な情報をお届けします！



夏の訪れとともに、全国各地で『海開き』が行われ、いよいよ海水浴シーズンがやってきますね。青い空と広がる海、潮風に吹かれて過ごす時間は、夏ならではの楽しみの1つですよ。友人や家族と出かける海水浴は、心も体もリフレッシュできる素晴らしいレジャーですが、その裏で毎年のように悲しい海難事故が発生しているのも事実です。

事故を防ぐために、まず大切なのは“決められた場所で泳ぐこと”です。海水浴場には安全が確認された遊泳区域が設けられています。そこから外れて泳ぐと、離岸流と呼ばれる沖に流される強い流れに巻き込まれる危険があるそうです。見た目には分かりにくいので、遊泳エリアの中で楽しむようにしましょう。また、天候の急な変化にも要注意です。黒い雲や雷が近づいてきたら、すぐに海から上がりましょう。特に子ども連れの場合は目を離さず、近くでしっかり見守ってあげることが大切です。浮き輪はあくまで補助として考え、安心しすぎないようにしましょう。

夏の海を安全に楽しむために、ルールとマナーを守ってみんなで気持ちよく、そして安全に夏の海を楽しみましょう！

今月の

今日は何の日？ 7/22

『夏ふーふースープカレーの日』は、食品の製造・販売を手がけるベル食品株式会社が制定した記念日である。日付は『夏(7)ふーふー(22)』と読む語呂合わせから。暑い夏でも「ふーふー」しながら熱々のスープカレーを楽しもうというユニークなコンセプトから生まれた。北海道発祥のスープカレーは、スパイスの効いたスープと大きめにカットされた具材が特徴。食欲が落ちがちな夏でも美味しく食べられる一品となっている。

夏ふーふースープカレーの日

## JB社員からの便り

# 2025年6月から義務化！ 職場の熱中症対策が法令で強化されました

近年の猛暑により、職場での熱中症による事故が全国的に増加しています。こうした状況を受け、2025年6月1日より厚生労働省による労働安全衛生規則の改正により、職場での熱中症対策が義務化されました。

対象となるのは、WBGT(暑さ指数)28℃以上、または気温31℃以上の環境で、1時間以上または1日4時間以上の作業を行う職場です。工場や建設現場、屋外作業はもちろん、室内でも機器や空調の影響で高温になる場所が該当する可能性があります。

今回の法改正では、事業者には以下の対応が求められます。

### 1. 報告体制の整備

作業中に従業員が体調不良を感じた際、すぐに報告・相談できる体制を整えること。

### 2. 初期対応の手順を明確化

冷却・休息・医療機関への搬送など、熱中症が疑われる場合の対応手順を文書でまとめておくこと。

### 3. 周知・教育の徹底

上記の体制や手順を、現場で働くすべての従業員に周知し、必要に応じて研修などを行うこと。

これらの対策を怠った場合には、6か月以下の懲役または50万円以下の罰金が科される可能性があります。

命に関わる熱中症は、早期の発見と適切な対応が命を守るカギとなります。働くすべての人の安全を守るためにも、事業所ごとの環境に応じた具体的な対応策の整備と、日頃からの意識づけが求められているのです。

今年の夏も厳しい暑さが予想されています。従業員一人ひとりが体調変化に敏感になり、そして職場全体で正しい知識と備えを持ち、声をかけ合いながら安心して働ける環境づくりを進めていきましょう。



**のせる前の肌温度から -3℃ が 1時間続く!**  
※30℃の暑気で使用した場合(白紙・白紙の体感値)  
肌へののせる前 >>> 1時間後

**ビオレ冷タオル**

PLUSの通販カタログで購入できるおすすめ商品！  
のせる前の肌温度から、-3℃が1時間持続(※)する冷却シート。(※30℃の室内で使用した場合)

※スマートオフィス・スマートスクール・スマート介護でも熱中症対策商品を取り扱っています。弊社営業担当までお問合せください！

## K 社長のつぶやき

### 第97回『“自反尽己”の精神を』

小説家・幸田 露伴の『努力論』には、「大きな成功を遂げた人は、失敗を人のせいにするのではなく自分のせいにするという傾向が強い」とあります。

世界で初めてiPS細胞の作製に成功し、2012年にノーベル医学・生理学賞を受賞した京都大学の山中伸弥教授は、「うまくいった時はおかげさま。うまくいかなかった時は身から出た錆(さび)」を信条に研究を進めてきたそうです。

パナソニックホールディングスを一代で築き上げた経営者・松下 幸之助さんも、「僕はな、物事がうまくいった時にはいつも皆のおかげと考えた。うまくいかなかった時はすべて自分に原因があると思った」と述べています。

つまり偉人は、みんな同じ事を言っています。すべてを自分の責任と考え、自分の全力を尽くす、この“自反尽己(じはんじんこ)”(安岡 正篤)の精神で常に矢印を自分に向けReflective(自省)しながら人として成長していきたいですね。

